

橋本かずみ 2024年3月25日発行 令和6年3月号 後援会 news

豊かさ、安心、信頼を
誰もが実感できる熱海へ。



《橋本かずみプロフィール》

- 1964年10月20日生まれ（59歳） ■熱海市清水町5番17号
- 静岡県立熱海高等学校卒業 ■株式会社東海プランニング代表取締役
- 2002年9月熱海市議会議員初当選（現在5期目）
- 2010年10月静岡県議会議員初当選（2期）
- 2015年6月衆議院議員秘書 ■2023年4月観光建設公営委員会副委員長

令和6年2月熱海市議会定例会報告

令和6年熱海市議会2月定例会は、2月21日から3月14日までの会期で開催され、36案件を可決、請願第1号は賛成少数で不採択となりました。可決された案件には、令和6年度熱海市一般会計予算案208億8400万円や県内初の宿泊税条例が含まれ、慎重審議し「伊豆山被災地復旧・復興を最優先としつつ、熱海躍進に向けて再始動する年」とする説明が齊藤市長より行われ、賛成多数により可決承認いたしました。

○新副市長には吉徳光男氏 新教育長には水野秀司氏を承認

現在、熱海市の副市長は金井慎一郎氏1名でしたが、もう1名吉徳光男氏（国家公務員・財務省）の起用を決め、教育長は新村教育庁が退任し後任に水野秀司氏（(有)水野商店代表取締役）を選任いたしました。



【今議会の橋本登壇質問要旨】

1. 令和6年度施政方針と重点施策について
2. 熱海市宿泊税条例について
3. 能登半島地震を教訓とした防災対策の見直しに関して
4. 本市の子どもたちを守る対策について
5. 建設残土の問題について



橋本かずみLINE (official)
是非ご登録お願いいたします

○県内初の宿泊税条例は可決、来春から導入されます。

3月14日、熱海市議会2月定例会最終日本会議にて宿泊税条例を全会一致で可決しました。2025年4月から運用される予定です。宿泊客一人一泊200円を徴収し7億円の税収を見込みます。この税収は、熱海観光局（DMO）を新たに設立し「選ばれ続ける観光地」「満足度の高い観光地」とするための観光振興財源として利用されます。

■熱海市総合福祉センター内の浴場の廃止は遺憾

市民の方から相談を受け、昨年、9月と11月定例会本会議にて質問した熱海市総合福祉センターの浴場について、今議会に浴場再開を求める請願書が市民の方々から提出され、私橋本は紹介議員となりました。市は老朽化と風呂が無い人はいない事を理由に浴場廃止を決定、コロナを理由に4年間休止し、利用者の状況を調査もせず、今回休止のまま廃止とすることを私は委員会で厳しく指摘しました。藤枝市では昨年4年に「藤見園」という老人福祉センターをリニューアルオープン、60歳以上の市民は、浴場をはじめ、会議室、集会室、芝生広場、マッサージチェアその他、輪投げ囲碁、将棋、モルック等の貸出しもすべて無料です。加えて毎週水曜日には無料の送迎バスも運行していました。本来熱海市もこうあってほしいのです。本市の宝である温泉を市民に享受していただくことは大切、熱海市は年間17000人が利用していたにもかかわらず、センター浴場の廃止を強行する姿勢に憤りを感じ、請願に賛成しましたが残念ながら賛成少数で廃止となる方向です。

○本市の子どもたちを守る対策について

平成13年に起こった大阪教育大学付属池田小学校児童殺傷事件の被害者ご遺族による講演会を聴き、本市の小中学校に通う子供たちの安全対策を新村教育長に伺いました。

【新村教育長】

平成13年6月に起こりました大阪教育大学付属池田小学校での児童殺傷事件は、学校に侵入した不審者により、授業中に無抵抗の小学生が刺殺されるという大変痛ましい事件として、教育関係者の記憶に深く刻まれております。先月、開催されました講演会には私も出席いたしまして、ご遺族の無念の思いと共に、学校に通う子供たちの安全を守るためにより一層の対策を講じる必要性を感じたところでございます。

はじめに、有事の際の対応マニュアルは整備されているかとのご質問ですが、子供たちの安全に関するマニュアルとして「校内緊急時での指導体制の在り方」や「不審者が校内に侵入した場合の対応マニュアル」を、また、自然災害に関して「災害時対応マニュアル」等、すべての学校において各学校の実態や地域性を考慮に入れて作成しております。

次に、池田小学校児童殺傷事件を教訓とした池田小学校の改善点は、本市ではどこまでできているのか、とのご質問ですが、教職員の護身術研修など一部実施できていない項目がございますが、この機会に今一度すべての項目におきまして見直しを行いまして、実施及び対応をしてまいりたいと存じます。